

東日本大震災から1年 「被災者支援の歩みとこれからの考える」

未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から1年が経過しようとしています。この間、弁護士会及び各地の弁護士は、被災者支援のための多様な活動に取り組んできました。このシンポジウムでは、被災者支援活動のこれまでの歩みを振り返るとともに、二重ローン問題や原発被害に関する今後の課題を検討します。



プログラム（予定）

基調講演「弁護士による東日本大震災被災者支援活動の概要とその意義」
永井幸寿 災害復興支援委員会委員長

パネルディスカッション「個人及び事業者の二重ローン問題とその対策への取組」
<パネリスト> 池永朝昭 東日本大震災・原子力発電所事故等対策本部立法PT委員
新里宏二 日本弁護士連合会副会長
岡田理樹 日本弁護士連合会事務次長

パネルディスカッション「原発事故損害賠償請求とADRの活用」
<パネリスト> 小海範亮 東日本大震災・原子力発電所事故等対策本部原子力PT委員
海渡雄一 日本弁護士連合会事務総長
原子力損害賠償紛争解決センター

3月9日（金）

日時

午後3時～午後6時

（開場 午後2時40分）

場所

弁護士会館2階講堂「クレオ」



東京都千代田区霞が関1-1-3 弁護士会館

地下鉄丸ノ内線 霞ヶ関駅（B1 b 出口直結）
地下鉄日比谷線 霞ヶ関駅（B1 b 出口直結）
地下鉄千代田線 霞ヶ関駅（B1 b 出口直結）
地下鉄有楽町線 桜田門駅（5番出口）
都営三田線 日比谷駅（A14, A10 出口）

参加費無料・申込不要

主催：日本弁護士連合会 <http://www.nichibenren.or.jp/>

お問合せ：日本弁護士連合会 人権部人権第二課 TEL 03-3580-9956